

寅さん歩 その 25

谷端川の流れを歩くー3



平野 武宏

前回は西武池袋線 椎名町駅から谷端川南緑道を歩き、山手通りと交差する要町通り手前の放射 36 号道路までの谷端川（やばたがわ）の流れを辿りました。今回は谷端川南緑道の続きを歩き、川越街道を横断し、板橋区管理の谷端川児童遊園から豊島区管理の谷端川北緑道を歩き、東武東上線下板橋駅、ＪＲ板橋駅を経由して明治通りまで歩きます。谷端川は豊島区・板橋区・北区の区境になっています。写真右上は谷端川児童遊園です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

〔谷端川南緑道〕

写真下左は地下鉄有楽町線要町駅で、前の放射 36 号道路を左へ直進すると千川駅方面、右へ行くと池袋駅西口方面です。谷端川の流れは放射 36 号道路を横断し、谷端川南緑道(写真下右)として続きます。



写真下は時々左側に見え隠れする山手通りです。写真下右は「日の出橋」です。



ここで日の出が見えたのが橋名の由来のようです。

写真下左は「北荒井橋」(池袋 3-10 と 3-11 の間)で地名の字「荒井」の北にある橋が由来とのこと。写真下右は「東橋」(池袋 3-13)で、ここから川の流れが東に変わるとか、間近の橋の東側にあるとか由来は諸説あるようです。



途中にある花々が散歩の目を楽しませてくれます。



写真下左は「高松橋」(池袋 3-14 と 3-15 の間)、写真下右は「上の橋」(池袋 3-32 と板橋区南町 9 の間)です。高松橋は地名、上の橋は字「上」が由来とのこと。



写真下左の「中上橋」(池袋 3-34 と板橋区南町 3 の間) で由来は地名と字の合成とのこと。写真下右は「御嶽橋」(池袋 3-40 と板橋区南町 1 の間) 付近です。豊島区側に御嶽神社が鎮座しています。



やがて谷端川南緑道は川越街道に突き当たります。写真下左は川越街道から振り返って見た「前田上の橋」(池袋本町 1-6 と板橋区熊野町 10 の間) です。前は熊野神社の前、前田橋の上にあるのが由来とのこと。川の流れは川越通りをそのまま横切りますが、現在の横断歩道は左側にある川越街道と山手通りが交差する熊野町交差点(写真下右)まで行って渡ります。



[川越街道]

川越街道は江戸時代から続く街道で江戸日本橋より中山道を進み、江戸四宿の一つの板橋宿の平尾追分で分岐して川越城下に至ります。東京都の通称道路名として定める川越街道は豊島区の明治通り六ツ又陸橋から板橋区の埼玉県境に至る延長 10 k m です。写真上右は山手通り(左から右へ)と川越街道(右下から前へ)が交差する熊野町交差点です。上は首都高速中央環状線が走っています。

〔熊野神社〕 板橋区熊野町 11-2

熊野町交差点の山手通り沿いにある熊野神社にお参りました。
写真下左は入り口、写真下右は奥にある拝殿です。



社伝によると、創建は応永年間（1394 年～1428 年）に豊島郡中丸村に移住してきた宇多天皇の子孫にあたる庭田氏兼（後に岩田と改姓）が一族の氏神として熊野権現を勧請、天正 15 年（1587 年）に氏兼五代目の子孫が、現在の地に遷したとのこと。中丸村周辺の鎮守として村人から崇敬を集めて来ました。

〔谷端川児童遊園〕

谷端川の流れに戻ります。谷端川南緑道の続きですが、板橋区が整備した「谷端川児童遊園」（写真下左）と呼ばれる緑道に入ります。路面が谷端川南緑道と変わり、雰囲気も変わった感じがします。散歩マップの表示にも板橋区管理と書かれています。引き続き川は豊島区と板橋区の境を流れます。写真下右は前田橋（池袋本町 2 丁目と板橋区熊野町 10 の間）で、前田とは熊野神社前の田圃の意味のようです。



写真下左は「北浦橋」(池袋本町 2-23 と板橋区熊野町 6 の間)北の平地(浦)なので北浦、写真下右は「中丸橋」(池袋本町 2-33 と板橋区熊野町 5 の間)で地名が由来です。



[谷端川北緑道]

長い緑道の板橋区管理の「谷端川児童遊園」は写真下左の「西前橋」(池袋本町 3-17 と板橋区大山金井町 5 の間)から豊島区管理の「谷端川北緑道」となります。西前橋は字名が由来とのことです。



川の流れは写真下左の「豊橋」(池袋本町と板橋区大山金井町の間)を通過し、山手通りと離れ、東武東上線に沿って写真下右の道を進みます。先にある下板橋駅前駐車場までが「谷端川北緑道」とのことです。豊橋の由来は地名ではなく人間の願望を盛り込んだ橋名とのこと。

橋名の由来については豊島区立郷土資料館友の会「旧谷端川の橋の跡を探る」から引用しています。この資料は寅次郎が豊島区に転居して間もなく行われた豊島区主催の史跡めぐり講習会に参加した時にいただきました。



〔下板橋駅周辺〕

東武東上線下板橋駅は豊島区にある駅です。谷端川北緑道は下板橋駅手前の駐輪場まで、川の流れは下板橋駅前の踏切(写真下左)を渡り、すぐ右の歩道(写真下右)に入ります。



ここでも谷端川の橋が再現されています。ＪＲ板橋駅へ向かって、順に３つの橋があったとのことで「三の橋」、「二の橋」、「一の橋」(写真下右)(板橋区 1-2 と 1-10 の間)です。



〔 J R 板橋駅付近～明治通り 〕

写真下左での前方は J R 埼京線板橋駅ホームです。板橋駅は豊島区と板橋区にまたがって位置しています。川の流れはガードをくぐり右折して進みます。ガードを出ると今度は北区と豊島区の区境を流れます。



写真上右や写真下左では道路の左側が北区滝野川 7 丁目、 右側が豊島区上池袋 4 丁目です。やがて明治通りとの交差点（写真下右）に到着します。



明治通りの手前の左側にソースの自動販売機がありました。後ろはトキハソースの工場でした。販売の瀧野川やきそばは完全予約制なので又の機会にします。



豊島区立郷土資料館友の会の資料では、今回、歩いた要町駅付近から明治通りまでは28の橋が確認されています。再現されたモニュメントには橋名が書かれてありました。

今回は板橋区・北区との区境を歩きました。「寅さん歩」の第1回[平成24年(2012年)12月]は「豊島区の区境を歩く」でしたので、9年前を思い出して歩きました。

今回はここまでとします。次回は明治通りから寅次郎の住むJR大塚駅付近を通り、文京区の不忍通りまでの谷端川の流れを辿ります。お楽しみに！

[バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「日光道中二十一次」を終え、宇都宮に戻り、バーチャルウォーク「奥州街道を竜飛岬まで」に挑戦です。「奥州街道」の日本橋から宇都宮までは「日光街道(道中)」と共用なので宇都宮を出発点としました。2020年12月23日栃木県宇都宮市を出立、2021年7月21日、青森県小湊宿(江戸から726km)に到着しました。

新型コロナウイルス感染拡大の終息には程遠い状況です。運動不足にならないように自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。毎日の歩いた距離を色塗りして進むバーチャルウォークはやりがいがあります。FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」には各ロングコースが紹介されています。また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで利用してください。

歩く際は密閉・密集・密接の密にならないように、また適度の水分補給で熱中症にもご注意を！

平野 寅次郎 拝